

ITUAJより

お知らせ

一般財団法人日本ITU協会創立50周年を迎えて

1971年9月1日に創立された一般財団法人日本ITU協会は、ITUジャーナル2021年9月号発行日に、50周年を迎えます。

50年前と言えば、ニクソン・ショックが発表された年であり、沖縄返還協定が調印された年でもあります。それは昔なわけです。

ここまで私共が歩んでこられたのも、皆様のお力添えのおかげです。心より御礼申し上げます。皆様への感謝と、これからの発展への思いを込め、50周年のスローガンを掲げました。

「皆様と50年 次の50年へ！」

— Towards next 50 years! —

本号は、50年を振り返り、これからへの思いを馳せるこのタイミングに発行する、創立50周年記念号です。ぜひご精読下さい。



ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

- | | | |
|-----|-------|------------------|
| 委員長 | 亀山 渉 | 早稲田大学 |
| 委員 | 菅田 洋一 | 総務省 国際戦略局 |
| 〃 | 山口 大輔 | 総務省 国際戦略局 |
| 〃 | 石川 幸恵 | 総務省 国際戦略局 |
| 〃 | 服部 恵二 | 総務省 総合通信基盤局 |
| 〃 | 中川 拓哉 | 国立研究開発法人情報通信研究機構 |
| 〃 | 荒木 則幸 | 日本電信電話株式会社 |
| 〃 | 中山 智美 | KDDI株式会社 |
| 〃 | 福本 史郎 | ソフトバンク株式会社 |
| 〃 | 熊丸 和宏 | 日本放送協会 |
| 〃 | 山口 淳郎 | 一般社団法人日本民間放送連盟 |
| 〃 | 菰田 正樹 | 通信電線線材協会 |
| 〃 | 中兼 晴香 | パナソニック株式会社 |
| 〃 | 牧野 真也 | 三菱電機株式会社 |
| 〃 | 長谷川一知 | 富士通株式会社 |
| 〃 | 飯村 優子 | ソニーグループ株式会社 |
| 〃 | 神保 光子 | 日本電気株式会社 |
| 〃 | 中平 佳裕 | 沖電気工業株式会社 |
| 〃 | 小川 健一 | 株式会社日立製作所 |
| 〃 | 吉野 絵美 | 一般社団法人情報通信技術委員会 |
| 〃 | 島田 淳一 | 一般社団法人電波産業会 |
| 顧問 | 齊藤 忠夫 | 一般社団法人ICT-ISAC |
| 〃 | 橋本 明 | 株式会社NTTドコモ |
| 〃 | 田中 良明 | 早稲田大学 |

編集委員より

コロナ禍と標準化活動

三菱電機株式会社

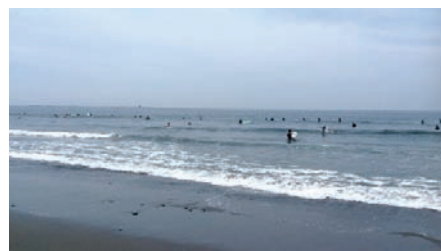
まきの しんや
牧野 真也



本稿では、2年前のITUジャーナルの巻末言執筆後から現在まで続くコロナ禍が標準化活動に与えた影響と将来の展望について書いてみたいと思います。

コロナ禍はリアル&サイバーという視点でとらえると、世の中のリアルの活動を強制的に停滞させ、サイバー上の活動を活性化させたと言えます。標準化活動では、従来の現地でのリアルの活動から一気にオンライン会合というサイバー上の活動に変化したことが挙げられます。オンラインの場合、費用と手軽さの面では大幅に手軽になったものの、オンライン会合では1日3~4時間程度の音声とプレゼン画面のみの参加が限界のため、従来の現地でのリアルの活動に比べて活動の量、質ともに希薄になったことが挙げられます。サイバーの世界はまだまだ発展途上なので、今後、XR技術、AI技術等が進展するにつれてリアルの活動との差異が狭まり、将来的にはサイバー上でリアルを超える心が通った活動ができるようになる日が来ることを期待します。このような将来を見据えると、標準化のテーマもコロナ禍が加速させたリアル→リアルとサイバーの最適な融合、という大きな社会変容への対応に必要な標準とは何かを考えると重要になってくると思います。

最後に、余談ながらコロナ禍が私自身の生活に与えた影響として、在宅勤務による運動不足解消のために毎朝散歩するようになりました。毎朝眺める茅ヶ崎海岸の写真を掲げます。



7月11日撮影、サーファーで賑わう茅ヶ崎海岸

ITUジャーナル

Vol.51 No.9 2021年9月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 山川 鉄郎

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイティブ・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会